

保護者学校評価アンケート自由記述について

平成26年7月実施

(自由記述の一部を掲載)

良かった点

- いつも校舎を囲む園芸がきれいに手入れされて、季節の花が出迎えてくれて心地よい。金魚や鯉も元気に泳いでいて、世話をされている先生方の心配りが伺える。子どもたちにとって良い環境であることがよくあらわれているので安心している。
- 授業を参観したのですが、見れて良かったです。子どもから聞くのと、実際自分(親)の目で見るとは違うところもあるので。ありがとうございました。
- 子どもは、小見中での生活、部活は毎日楽しんでます。今後ともよろしくお願ひします。
- 部活動の最後の大会が近付いてきました。目立った活躍などはできませんでしたが、今まで1回も休まず練習、大会と参加することができました。これも先生方からの励ましがあってのことだと思っています。ありがとうございました。
- 今日、音楽集会を見てきました。今年で4年目ですが、毎年楽しみにしています。1年生は入学して間もないのに元気に歌っているし、2年生は去年より大人の声に変わっていました。3年生はさすがとても上手でした。これからも続けてください。
- ラインネットが前よりも早く送られてくるので良かったです。これからも続けてほしいです。
- ホームページとても助かってます。配付の手紙は子どもが渡し忘れていないかチェックできます。行事等の写真も毎回楽しみに見させて頂いてます。お忙しい中大変だとは思いますが、これからもよろしくお願ひします。
- 小見川中学校の生徒はあいさつが素晴らしいと評判です。実際に私自身もそう思います。特に3年生は、下級生のお手本となるようなあいさつが出来ていて立派だと思います。
- いつもお世話になりありがとうございます。毎日、楽しく学校へ通い、勉強や部活動、思っていたよりもとてものがんばっています。先生方に感謝しております。
- 先生方にはいつもお世話になり、心から感謝しております。これからも小見川中学校がよりよい学校になりますよう、保護者も協力していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

改善点についての回答

(1) 生活面等について

Q1 携帯・スマホの使い方について

- ・子どもたちの LINE の使用について（フェイスブック、ツイッターも）。禁止にするのも難しいと思いますが、イジメ等があると心配です。本人はあまり深く考えずコメントしたりするけれど、言われた相手は傷ついていることもあります。大人でも上手に LINE を使えないのに、子供が使うのは心配です。学校で禁止する考えはありますか？（禁止してもこっそりやりそうですが）

【回答】

- ・中学校では、これまでも携帯電話（以下ケータイ）やスマートフォン（以下スマホ）は中学生には必要ないという立場をとってきました。ケータイ等でのいじめのトラブルは、もともとケータイ等を持っていない生徒にはありません。中学校で禁止できるのは、学校への持ち込みです。学校以外の場でのケータイやスマホの使用については、個人的な持ち物のため、保護者の責任において使用させることになります。しかし、最近の様々なスマホがらみの事件や事故を考えると、深刻なことです。自治体によっては条例で未成年者のスマホ等の使用制限を検討しているところもあります。大切なのは、契約者（料金を支払っている人）は保護者であって、保護者が子どもに貸している形になっているということです。まずは使う上での約束を御家庭できちんと決めたいので、使わせるようにしてください。できない場合は、御家庭で必要な措置を講じてください。

※生徒会が策定した「ライフスタイル改善宣言」は使用時間等を決めてあります。

Q 2 自転車の乗り方について

- ①マナーが悪いと思います。私が通っていたころには考えられないマナーの悪さだと思います。
- ②サドルを高く上げて乗り、ペダルをつま先でこいでいる。もちろん地面に足がつかせませんよね。よく見かけるのは、（信号待ちで）足を塀にかけて止まる、ゆっくり青に変わるまでジグザグ走る、などなどいろいろ見かけます。
- ③登校時、一方通行を逆走している件、危険なので適切な指導をお願いします。（事故が起きてからでは遅いと思います）

【回答】

- ①全体として、自転車の運転マナーは向上してきています。マナーの良さに感心して、中学校にメールをくれた地域の方もいらっしゃいます（5/26 のホームページ）。しかし、一部継続した指導が必要な生徒もいます。運転の乱暴さが目に余る場合には、中学生を止めて、その場での厳しい指導をお願いします。以前、学校に「昨日、男子中学生の自転車の乗り方が悪かったので、止めて厳しく注意しました。ちょっと厳しく注意しすぎたかもしれないので、学校でフォローをお願いします。」という地域の女性の方からの電話を受け、地域の教育力の高さを感じました。今年の P T A 総会でもお願いしましたが、道路交通法が改正され、自転車の安全な運転については、中学校の指導だけでは限界があります。また、違

反によっては罰金（反則金ではない）を支払うケースも出てきます。神戸で小5男児が60代の女性をはねて、意識不明の寝たきりにさせたケースでは、男児の母親に賠償金として9,500万円を支払う判決が出されました。中学校でも、これまでと同様に継続した安全指導を行っていきませんが、御家庭でも厳しい指導をお願いします。

②サドルについても、個別に指導していきます。御家庭でも、自分の子どもの自転車の様子をよく見て、適切な指導をお願いします。

③城山公園駐車場入り口の側道の件です。北地区や、中央地区で大橋方面からの生徒が通行しています。自転車通行が許可されている（双方向から）歩道ですが、幅が狭い為に一方通行の車道に出て、逆走する形で走るケースが多くあり大変危険な状態でした。そこで、現在は城山駐車場の中を通るように指導しています。

Q3 下校時間について

- ・決められた時間までに下校というのは良いことだと思います。しかし、かなりぎりぎりに急いで出ている状態のようで（のんびりしているわけではない）荷綱など危険だと思ふことがあります。あと5分でも早く部活動を終わらせるだけで、少しは余裕ができると思いますので検討いただきたいです。

【回答】

- ・子どもたちが困ることのないよう、時間を見て早めに終わらせるようにしていきたいと思います。

Q4 バッグについて

- ・基本的な礼儀、中学生らしい態度を指導されるのは良いことだと思いますが、今の時代の中学生としては、少し時勢にそぐわない締め付けがあるようにも思います。もう少し自由度があってもよいのではないかと思います。（例えば荷物が多い修学旅行のかばんをスポーツバッグでないとダメと指定することなど。華美でなければ荷物が収まる大きさのバッグを使用しても構わないのではないかと思います。各種大会なども、十分な水筒・着替えを入れるのには小さいと思います。）

【回答】

- ・御家庭によっては、バッグを新たに購入しなければならなくなり、なるべく金銭的な負担をかけないようにとの配慮からそのようにしています。これまでも、それでなんとか間に合ってきました。しかし、要望が多いようであれば今後検討していきたいと思います。

Q 5 水筒について

- ・水筒を持っていける期間が決まっていますが、学校の水はおいしくないと言っているのです、期間以外の時でも水が持参できるといいと思います。

【回答】

- ・先にお知らせしたように、水筒は「通年」での持参を可としました。水筒の中身など約束を守って持ってくるようにしてください。

Q 6 登下校の服装について

- ①朝、雨が降り、ジャージで登校した場合、午後（帰宅時間）に晴れが見込まれるとしても制服の持参はしなくてよいことにしていただきたい。（行事着用があるときを除く）
- ②寒い時期、体操服の登下校はOKなのに、暑い時期、制服？登下校のみの制服なら・・・。

【回答】

- ①朝、雨天でジャージ登校の場合は、下校時もジャージのまま可としたいと思います。ただ、このところ雨天時にカッパを着ない、あるいは駐輪場からカサをささずに濡れてくる生徒が多く見受けられ、体調を崩す生徒が増えています。天気予報を必ず確認してカッパを着たり、カサを用意したりするなどの準備をさせてください。
- ②厳冬期の女子の体操服での登下校を可にしたのは、平成12年からです。当時、不審者の出没と女子のスカートの寒さ対策、スカートの下にジャージをはく姿をやめさせるという3つのねらいがありました。ですから、男子は制服の方が温かいのでそのまま、女子のみが体操服にウィンドブレーカーという形になりました。御指摘の猛暑期の登下校の服装ですが、近年の状況を考慮して検討したいと思っています。

(2) 学習面について

Q 1 補習について

- ・今のところ楽しく学校に登校し、自分なりに勉強や部活を頑張っています。数学が苦手科目のため、1年生の時から各々の単元の時つまずいた際、復習し、理解することができるよう補習ができるようなシステムができればと考えます
- ・夏休みに補習とかはしていないのですか？
- ・いつもお世話になっております。3年生で部活動も終了したので今後は勉強の方に頑張ってもらいたいと思いますので補習のようなことを考えて頂けたらお願い

いたします。

【回答】

- ・現在行っている補習は、定期テスト前と、夏休みに各学年で計画を立てて実施しています。とくに3年生は、夏休みに1週間の期間を設けて、補習を実施しました。その他に、個別の希望に応じて随時実施しています。ただ、部活動を実施している時間は、教員は部活動の指導にもつかなければならないので、長時間指導することはやや難しい面があります。授業直後や昼休みに気軽に先生に質問にくるように声をかけていきます。

Q 2 定期テストについて

- ・いつも大変お世話になっております。定期テストの件ですが、まだ学習していない部分が出題されているようだ・・・と聞きました。各教科担当の先生方で話や連絡を密にすれば、その点は防ぐことが事前に可能ではないかと思えます。以後、クラスにより不公平がなくなることを希望します。

【回答】

- ・テストの範囲表は、いつも2週間前に配付し、計画を立てさせています。授業の進み具合から途中で範囲を狭くしたりすることもあります。学年や教科によっては、複数の教員で指導に当たっていますので、範囲にずれが生じないよう教科担当間で連絡調整を密に行っていきたいと思います。

Q 3 学習指導について

- ・理解度の低い生徒のフォローをしっかりとやっていただけるようお願いいたします。

【回答】

- ・学力向上がもっとも重要な本校の課題です。授業の中に前の時間の復習を入れたり、テスト前の授業で振り返り学習を行ったりするなど、身につけていない部分を少しでも減らせるように工夫しています。放課後の補習等についても、上記Q1の回答のとおり実施していきたいと考えています。

Q 4 プール開きについて

- ・プール開きの時期が遅いと思います。部活で6月から学校のプールを使用との説明でしたが、実際は7月からでした。L&Mのスイミングスクールの水質も悪いので、出来たら学校のプールの使用がいいと思います。

【回答】

- ・ 昨年、プール底と側面をペンキで塗り直しています。こうすることで、藻が付きにくくなり、使用する塩素の量もかなり節約できます。今年は、6月中旬から塗り始めましたが、天候が悪く、何度も中断せざるをえませんでした。塗る前の掃除もかなり時間がかかります。しっかりと乾かさなければなりません。6月中の開始を予定していたのですが、水入れにも数日かかります。来年は、なんとか6月中の開始を目指したいと思います。

(3) 行事面について

Q1 体育祭の開催時期について

- ・ 今、体育祭を6月頃に行うところが多いと聞いています。夏休み明けの炎天下に体育祭練習を行ったり、当日の暑さを考えると、5月・6月ごろに行った方が良いのではないのでしょうか？
- ・ 茨城県は、小・中学校の運動会は5月ごろ行っていますが、千葉県は暑い夏休み明けの9月に予定する？

【回答】

- ・ 5月には修学旅行など旅行・宿泊行事があること、また5月から6月には部活動の大会があること、6月中旬以降は梅雨に入り天候が不安定になることなどから9月実施を続けています。本校は、多くの種類の部活動があるため、どうしてもどこかの大会にかかってしまいます。逆に10月以降の実施は、文化祭もありますし、3年生にとって進路への切り替えが難しいことから実施は困難です。今年の体育祭は、幸い涼しい日が続く、絶好のコンディションで実施できました。また、練習時間の短縮や水分補給と休憩のバランス、種目の精選、テントの設置、放課後の部活動を中止し疲労回復させるなどの対策を講じています。5月、6月の実施については、引き続き検討したいと思います。

(4) 部活動について

Q1 朝練習の開始時刻について

- ・ 6:30前には駐輪場に到着している子どもたちを見かけます。少しずつまた朝練の集合が早くなっています。時間を守って行くと逆に「遅い」ととられ、印象が悪くなります。本当は何時からですか？

【回答】

- ・ 朝練習の開始は7時です。6時45分以前には登校しないとしています。冬季は朝練習の開始は10分遅らせて7時10分としています。同様に6時55分以前には登校しないとしています。早くなりがちな部活動に対しては、顧問から早く

来すぎないように伝えてもらうようにします。

Q 2 大会の送迎について

- ・部活動で、大会等の送迎を学校側でやってほしい。仕事で行けないときがあるので。

【回答】

- ・顧問は、部活の人数によって、あるいは会場の場所によって、部活動ごとになるべく金銭的な負担がかからないような方法を四苦八苦しなから考えています。人数の少ない部活では、貸し切りバスを頼むと一人当たりの負担額が増えてしまいます。2校合同で1台のバスを利用することもあります。JRが利用できる場所であれば、団体割引を利用して行くこともあります。JRがないところや時間的に接続が悪い時には、バスで行かざるをえません。タクシーを利用したこともありました。トータルでバスより安かったからです。バスを頼むほどでもなく、かと言って自転車では遠い、そのような中途半端に近い場所の時に保護者による送迎をお願いする部活動もあります。保護者の都合が悪い時は、顧問まで相談してください。

Q 3 部停について

- ・部停になった時、草抜きではなく補習にした方がよいと思います。

【回答】

- ・今年度から「部停」という決まりを廃止しました。遅刻や違反は個々の問題であり、今年度は個別に指導するようにしています。

Q 4 保護者・顧問の連携

- ・先生方の部活動への取組には感謝しています。中学生活での部活動は生きていく上での大切な経験となりますので、保護者としても協力させていただきたいと思います。今年から部活動PTAの全体会が行われましたが、校長先生のお話から先生方のご苦勞も十分に理解しました。そのことも含め、今年は私だけなのかもしれませんが、部活の顧問の先生に相談することも遠慮してしまいます。先生方の負担を減らすためにも、先生方も保護者に相談をしていただけたら、お互いに良い関係が保てるのではないのでしょうか。

【回答】

- ・子どもたちの成長のために、家庭と学校の連携は大切です。遠慮したり躊躇したりして、子どもが不利益を被らないよう連絡を密にしながら、良い関係を保てる

ようにお願いします。

Q 5 部活動の人数について

- ・先日の壮行会を見て思ったのですが、部活動の人数の偏りはどうにかありませんか？生徒がやりたい部活に入る方がよいのはわかっていますが、来年度人数不足のため試合に出場するのもままならない部活があります。歴史ある小見川中学校の部活が廃部の危機ではさみしすぎます。がんばって部活動を続けても試合に出れず、目標もない生活では子どもたちがかわいそうです。人数不足の部活の件、真剣に考えてください。

【回答】

- ・人数の偏りは難しいところです。部活動は、基本的に個人の希望により決定します。ですから、希望していないのに人数が多い部から少ない部へ移動させることはできません。もちろん、人数の多い部ではこれまでも折に触れて「3年になった時に試合に出られない、ベンチにも入れない人が出てくる」などの理由で、それとなく移動を促すような話をすることもあります。しかし、部活動への入部の目的が「勝ちたい」や「県大会に行きたい」だけでなく、「体を鍛えたい」「やめなくて続けたい」というお子さんもいます。なんとか良い方法を考えたいと思います。また、部活動の人数不足もそうですが、顧問の人数不足も深刻です。ほとんどの部活動が一人で顧問を持っています。一人顧問では、事故が発生した時など、対応が難しい場面が発生します。生徒の人数の減少に伴って、部の数も減らさなければならない時期に来ています。昨年度は英会話部をなくし、今年度は体操部が活動停止になっています。様々な意見を聞きながら検討していきたいと思っています。

Q 6 休日の部の活動時間について

- ・休日の部活動、基本12時までとなっていると思いますが、なかなか時間で終わらないように思います。食事や、体調のことを考えるときちんと時間で終わらせ、下校させていただきたいと思います。

【回答】

- ・午前中の練習の場合は、遅くとも12時までには終了するようにしています。しかし練習の区切りが悪かったり、できないところを繰り返し練習しているうちに時間が過ぎてしまうことがあります。できるだけそうならないようにしていきたいと思います。ただ、中には個人練習をしたいと申し出て、全体練習終了後に残って練習するお子さんもいます。早く帰るよう声をかけていきたいと思っています。

Q7 ボランティア活動との両立

- ・ボランティア活動に参加したくても、部活動が重なってしまうので「休みます」と言えずに参加できない子どもたちがいるようです。

【回答】

- ・ボランティアに参加することも大切なことです。ただ、大会や練習試合と重なるなど特別な場合は厳しいと思います。どちらにせよ、早めに顧問の先生に相談することが大切です。その時の状況によって条件が変わってくると思います。

Q8 天候悪化時の下校について

- ・悪天候になる前に早く帰すか、学校で待機させてください。先日、雷の中下校していたので不安です。判断が遅い気がします。

【回答】

- ・天候の急激な変化により活動や下校が困難な場合には、一時的に校舎へ避難させ、様子を見て帰す、あるいは保護者に迎えに来てもらうようにしたいと思います。天候悪化が予想されるときは、これまでも午前中から雨雲レーダーや予想進路図など情報を得ながら判断してきました。回復が見込めず、ひどくなる前に帰すという判断もありました。結果として、地域により大雨になってしまったり、雷が鳴ってしまったりということもありました。判断が早すぎたわけです。しかし、今後は、程度の如何にかかわらず、一次避難・待機させて、完全に雨雲が去ったことを確認してから次の指示をしていきたいと思っています。

Q9 子どもの変化・自立について

- ・ゆとり教育や叱らない教育方針となってから、子ども自身で考えて行動することが減少していると思います。競争心も欠けているように見受けられます。子どもたち全員が平均的レベルに達している状況なら許せますが……。学習レベルが低くても運動能力に優れ、優しい子どもたちも多く、ほほえましい子どもたちもいますが、社会情勢や世界の教育状況から考えると、疑問に思うところがあります。できる子を伸ばし、できない子たちをなんとかできるレベルに上げる工夫はできないものでしょうか？
- ・子どもがあまりにも親をあてにしすぎて、自分で考えたり、話をよく聞いたりしない傾向にあります。あまりにも保護者が関わりすぎたり、ラインネットなど便利になりすぎたりして、「あとで親に聞けばいいや」と子ども自身が先生の話をよく聞こうとしなくなった気がします。

【回答】

- ・「できる子を伸ばし、できない子たちをなんとかできるレベルに上げる」ことは、学校教育の最大の目標です。そのために、日々様々な場面で創意工夫して教育活動にあたっています。そんな中で「子ども自身で深く考えようとしなさい」「話をよく聞こうとしなさい」傾向はあります。大人をあてにし過ぎる傾向も一部には確かにあると思います。授業や様々な場面で、考える習慣や話を聞く習慣を身に付けさせたいと思います。そして、自分自身の力で考え行動し、物事に対処して達成感や成就感を味わわせることで、努力の必要性や継続することの重要性を自覚させていきたいと考えます。また、家庭学習の習慣が身につけていないお子さんが多くいます。与えられたもの（宿題等）をこなすだけでなく、自ら学習教材を選び、自分自身で解決しようとする姿勢こそ、大人になって必要な力です。中学生の時期は、そうさせようと思えば大きく変化できる時期です。自ら学習しようとせず教えてもらうことだけに慣れ過ぎてしまうのは、子供の自立の妨げになると考えます。

※12月12日（金）に開催予定の教育講演会（本校体育館）では、「自立した子どもに育てる」という演題で、昨年好評だった「親業訓練協会」の講師の方に講演をお願いしています。ふるって御参加下さい。講師；式場敬子（しきばけいこ）氏・・・心理カウンセラー、「みんなで取り組む千葉教育会議委員」

Q10 給食について

- ・給食が少ない。給食がおいしくない。満足できる食事ができていない。

【回答】

- ・香取市の給食センターが小見川の1か所になった結果、広いエリアに昼前までに配送しなければならなくなった関係で、短時間に調理しなければならない時間的制約、野菜は当日の朝に準備するなど食材の制約、フライを揚げる調理器具の性能等から様々な課題が出ています。給食センターでも何とかしたいという思いをもっています。しかし、様々な制約の中でできるぎりぎりの状態で行っているのが現状です。給食費の未納も多く大変困っています。しかし、量や質について給食センターに繰り返し要望は出していきたいと思えます。

Q11 けがをしたときの対応について

- ・けがをした時の対応。まず病院へ連れて行って欲しい。（切り傷、擦り傷以外は）そして、保護者には病院で引き渡すという形に……。何の為に保険証の番号等を提出しているのか……。

【回答】

- ・緊急を要する場合や保護者がすぐに来れない場合は、救急車を要請したり、教職

員が付き添ってタクシーで病院に連れて行ったりする場合があります。そして、病院で保護者に引き渡します。これは、あくまでも緊急時です。基本的には、保護者に連絡し、保護者に連れて行ってもらう形です。なぜなら、中学校では600名弱のお子さんを預かっており、教職員は40名弱です。養護教諭は1人しかいません。保健室には、1日平均30～40人が来室します。けがや病気、熱を計る、体調が悪くベッドで休みたい、心の悩み相談など後を絶ちません。病院へ付き添って保健室を空けている間に他の具合が悪い生徒がやってきましたら対応できません。そのような理由から、原則は保護者が病院へ連れて行くという形にしていますので御理解をお願いします。

Q12 イスの補修について

- ・イスがささくれだっていて、ジャージがボロボロになってしまってます。新しくしてほしいとは言いませんが、テープ等で補修されるなどの工夫を求めます。

【回答】

- ・イスのささくれについては、テープ等で応急処置の補修をしたいと思います。小見川中の机・イスについては香取地区では最も古く、しかも小さいサイズです。ほとんどの学校は教科書がA版に替わってから大きなものになりました。小見川中は来年、大規模改修があります。この機会に大きな机に替えてもらえるよう、要望を出していきたいと思います。（これまでもずっと要望は出しています。）

Q13 体操服について

- ・白の体操服について、吸湿性は良いが、乾きにくいいため、夏場は湿った状態での着用が長くなると思われます。健康面からも乾きやすい素材のものに変更できればと考えます。

【回答】

- ・現在検討を進めているところです。材質・色・値段・デザイン・吸湿性・速乾性等を考慮して、決定していきたいと思います。変更の時期については未定です。

Q14 エアコンの設置について

- ・市長選の街頭演説で、宇井市長が「香取市全部の小学校と中学校に、冷房エアコンを設置します！！」と言っていたけれど、それは切実にその通りだと思いました。ひと昔前だったら「そんなことは贅沢だ」とか「あまいよ～」とか言っていたと思うんですけど、地球温暖化で、毎年気温が上がってきているので、今や冷房のない部屋では熱中症になってしまうからです。蒸し暑い部屋で

の勉強は、今の時代は過酷かと思います。勉強を教えて下さってる先生方も蒸し暑い教室で、大きな声で50分間教えるのは大変かと思います。冷房エアコンを設置する話は、前向きに検討していただきたいと思います。

【回答】

- ・香取市内の小・中学校には、今年度中に全校に設置する予定だそうです。ただし、小見川中は、早ければ来年の7月から2年余りかけて大規模改修を行いますので、それに合わせてエアコンを設置します。ですから、市内では一番最後になります。